

研究課題名	ハイリスク手術症例の事前届出制について
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	所属 麻酔科 氏名 春日 武史
研究期間	2015年8月から2015年12月
研究の意義・目的	<p>複数の重篤な併存疾患を有する、いわゆる“ハイリスク患者”に麻酔および手術を行った場合、術後に併存疾患の悪化や新たな合併症を生じる危険性がある。</p> <p>武蔵野赤十字病院では手術担当診療科が麻酔科に麻酔管理を依頼する際に、あらかじめ決められた基準（*）に該当するハイリスク患者を選別し、“麻酔科重症患者カルテ診”として麻酔前評価を行うシステムがある。</p> <p>麻酔科重症患者カルテ診の対象となった患者に対しては、手術前早期より、麻酔科と依頼元診療科、併存疾患の担当診療科による医療的介入が行われている。すなわち、麻酔科重症患者カルテ診がなされた時点で、麻酔科、依頼元診療科（多くは手術担当科）、併存疾患担当科により、手術適応、併存疾患の改善方策、麻酔計画を含む周術期管理方針を集学的に検討し、専用書式に記録している。</p> <p>麻酔科重症患者カルテ診による麻酔前評価システムは2014年5月より運用が開始されているが、このシステムが術後転帰に与える影響は定かではない。</p> <p>* 麻酔科重症患者カルテ診の対象を選別する基準</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 免疫不全薬と抗血栓薬の両者が投与されている ② 心不全の既往がある ③ 間質性肺炎あるいは閉塞性肺疾患を有している ④ 人工透析を受けている ⑤ 肝硬変を有する <p>上記5項目中、3項目以上を有する患者</p> <p>この研究では、本システムがハイリスク患者の術後転帰に与える影響を調査し、その臨床的有用性を検討する。</p>
研究の方法 (対象期間を含む)	<p>麻酔前評価システムが導入された2014年5月から2015年4月までの12ヶ月間に麻酔科重症患者カルテ診を行った患者を対象とする。</p> <p>重症患者カルテ診記録用紙より、重症患者カルテ診を行った理由、予定術式、麻酔科診察を含む麻酔前評価（手術適応、併存疾患の改善方策、麻酔計画を含む周術期管理方針）と依頼元診療科への返信内容、周術期経過を抽出し、以下を集計する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 選別基準の該当項目の種類と数 ・ 依頼元診療科の割合 ・ 術式変更を含む手術適応の再評価の有無

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 術後 90 日死亡者数 <p>臨床研究倫理審査委員会による承認を得られた時点で、集計を開始する。集計作業には 1 ヶ月を予定している。集計結果の解析は 2015 年 12 月までに終了する。対象事例数は 126 例が見込まれる。</p> <p>研究の方法で挙げた集計結果について統計学的評価を行う。統計ソフトには Excel と R を用い、検定には $P < 0.05$ を有意差ありとして、χ 二乗検定、F 検定を用いる。</p> <p>影響が認められない場合でも、研究期間末日をもって研究を終了する。なお、研究結果については麻酔科関連学会において発表予定である。</p>
<p>個人情報の取り扱い</p>	<p>本研究は後ろ向きケーススタディーであり、重症患者カルテ診記録用紙より年齢、性別を除いた個人情報を削除した後、研究に使用する。従って個人が特定されることはない。研究終了後は、研究に使用したデータ表は全てシュレッダー処理される。</p>
<p>問い合わせ先</p>	<p>当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ</p> <p>〒180-8610 東京都武蔵野市境南町 1-26-1</p> <p>武蔵野赤十字病院</p> <p>所属 麻酔科 氏名 春日 武史</p> <p>TEL:0422-32-3111 (代表) 6812 (事務局内線) FAX:0422-32-3525</p>